

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

双日株式会社（証券コード:2768）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A
国内CP格付	J-1

■格付事由

- 自動車、航空・社会インフラ、エネルギー・ヘルスケア、金属・資源・リサイクル、化学、生活産業・アグリビジネス、リテール・コンシューマースービスのセグメントを有する総合商社。自動車では組立・卸売事業に加えディーラー事業にも取り組むなど多様な事業を展開している。航空・社会インフラでは大手航空機メーカーとの代理店として国内シェアトップの地位にあり、ビジネスジェット事業、リース事業なども行っている。
- 非資源分野を中心とした強固な事業基盤に変化はない。新規投資を継続的に実施しており、利益への貢献も進んでいる。様々な事業を行っており、環境の変化によってプラス要因、マイナス要因が生じるが、親会社の所有者に帰属する当期利益（最終利益）では1,000億円レベルを安定的に確保できる状況にある。資産の見直しや入替を適切に実施してきたことで、資産の質に大きな問題は見当たらず、多額の損失が発生するリスクは限定的である。ネットDERなど財務指標は良好な水準にある。以上より格付は据置きとし、見通しは安定的とした。
- 24/3期の最終利益は1,008億円（前期比9.4%減）と前期に続き1,000億円レベルの利益を確保した。一過性損益を除いた最終利益の内訳は非資源分野695億円、資源分野338億円と非資源分野が約7割を占めており、非資源分野を中心とした事業ポートフォリオを構築している。25/3期の最終利益は1,100億円と引き続き高水準の利益が維持される見通しである。中期経営計画（25/3期～27/3期）では、3ヵ年平均の最終利益を1,200億円超にする計画であり、今後の成長戦略の進捗に注目していく。
- 24年6月末のネットDERは0.80倍であるなど、財務内容は良好である。中期経営計画では新規投資の実行額を約6,000億円としており、投資姿勢は積極的である。一方で投資回収も継続するなど、当面、現状程度の財務内容を維持できると見ている。リスクアセットと自己資本のバランス（リスクアセット/自己資本）は24/3期末0.6倍と十分にコントロールされた状態にある。

（担当）千種 裕之・本西 明久

■格付対象

発行体：双日株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月1日	2027年6月1日	0.715%	A
第35回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年3月8日	2028年3月8日	0.605%	A
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年11月27日	2029年11月27日	0.470%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 37 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 9 月 14 日	2030 年 9 月 13 日	0.560%	A
第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2021 年 5 月 27 日	2031 年 5 月 27 日	0.550%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500 億円	2022 年 11 月 28 日から 2 年間	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,500 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年8月6日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「総合商社」(2024年8月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 双日株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル